

好きです 和泉中

7月号

和泉市立和泉中学校
〒594-0023
和泉市白大町1-2-1
Tel0725410094
Fax0725467596

教育目標
「努力」
「誠実」
「自律」

めざす生徒像

- たくましく 健やかな生徒
- 美しい 心の生徒
- たゆみなく 学ぶ生徒

「夏・本番」

校長 原田 尚史

気温も連日三十度を超え、「熱中症」での救急搬送が報道でなされるなど、夏本番を迎えることとなりました。今後も気温は高い状態が続くことが予想されます。水分補給を十分に行ってください。講習を受けて分かったことですが、「朝食を食べる」というのも熱中症予防にはいいそうです。また、しっかりと睡眠をとりましょう。結局のところ、いつも言われることかもしれませんが、「規則正しい生活」が、自分を守ってくれることにつながります。

さて、一学期も残すところあと数日です。各学年・学級では、「一学期を振り返って」ということで、アンケートや文章標記での振り返りなどを行っています。何より、この二年間、新型コロナウイルス対応で、学校の行事が延期、中止を余儀なくされましたが、今年度は、ほとんどの行事を予定通り実施できました。その中で、得たこと、2学期につなげていきたいことなど、たくさん振り返ってほしいと思います。しかしながら、今後も、感染防止、感染拡大防止の対策は、充分に行いながら、活動を進めていく予定です。

ただ、生徒のみなさんにとっては、期末テストが終わり、夏休み・・・と、その前に個人懇談が予定されています。保護者の方とは、ゆっくりお話しできる機会でもあります。たくさんお話をきかせていただければと思います。普段の気になる様子、頑張っている姿。

生徒のみなさんは、成績も含め、学習面で、しっかりと一学期を振り返る場とし、次の学期につながるような機会にしてください。とくに3年生は、自分の進路を見つめる機会になるでしょう。夏休みに、何を、どのように頑張ればいいのかも、お家の人、担任の先生と、考える機会にしてください。

最後に、ウクライナでは、ロシアとの紛争に一般の人が巻き込まれ、「普通の生活」ができにくい状況が今なお続いています。また、私たちの周りを見渡せば、「これでいいのか」という問題もあるかと思っています。学校では「協働的な学習」がうたわれています。これから、みなさんが生きていく社会は「予測不能」な社会ともいわれています。コロナ対応でも、さまざまな対応があったことだと思いが、今後ともこういった「未知の体験」がまっていると言われています。だからこそ、周りとの力を合わせ、しっかりと情報をとらえ、自分はどうするかを考える。その考えは、周りの人にとってどうなのか、実現するために何が必要かを話し合う。そんな力が求められています。

7月行事予定

日	曜	給食	学校行事等
1	金	○	⑥3年進路学習(体育館)
2	土	×	
3	日	×	
4	月	○	マナーキャンペーン(~7/8)
5	火	○	
6	水	○	⑥2年薬物乱用防止教室
7	木	○	SC
8	金	○	⑥学カテスト・アンケート 委員会(放課後)
9	土	×	
10	日	×	
11	月	○	⑥たてわり活動
12	火	○	個人懇談
13	水	○	個人懇談
14	木	○	個人懇談 SC
15	金	○	個人懇談
16	土	×	
17	日	×	
18	月	×	海の日
19	火	○	個人懇談
20	水	×	終業式・大掃除 地域協回り活動
21	木	×	夏季休業開始
22	金	×	
23	土	×	
24	日	×	
25	月	×	
26	火	×	
27	水	×	
28	木	×	
29	金	×	8/25 2学期開始
30	土	×	
31	日	×	

※SC…スクールカウンセラー来校日
新型コロナウイルスの状況で変更する場合があります。

えがお たくさんの笑顔とともに

6月は、3年生は修学旅行に、1年生2年生は、それぞれ校外学習にでかけました。ということが、普通にお知らせできることがうれしく思っています。たくさんの笑顔とともに、充実した行事を各学年ともに実施できました。



ねっちゅうしょう ちゅうい 熱中症に注意

気温・湿度高い日が続きます。水分補給のため水分を多めに持参すると、マスクは、体育時や屋外でははずようにしてください。

へいわ かんが 平和について考えよう

8月は、平和について、とくに考える時間でもおもうと思っています。遠い昔のように感じる人、どこか違う国で起こっていることと感している人もいるかと思いますが、日本に住む私たちにとっては、大切な時期だと思えます。8月6日は、広島に世界で初めて、原子力爆弾が投下されました。8月9日には、長崎に原子力爆弾が投下され、多くの方がなくなり、今なお、後遺症に苦しむ方もおられます。そして、8月15日は、終戦記念日として、さまざまな報道がなされます。いずれの日も、本当にたくさんの犠牲があり、今私たちが、こうして暮らしていることも忘れてはいけません。今年になってからも、ウクライナとロシアの間でも紛争が起こり、巻き込まれた多くの方が命をなくし、住んできた地域を追われるなど、悲壮な状況が続いています。だからこそ、今、私たちが引き継いだこの命や平和を大切に、次の世代へ、よりよく引き継いでいけるように、改めて過去の歴史や現状を知り、振り返り、考える時にしてほしいと思っています。

